



歩行者の安全が最優先



墨出しはうまくできなかった



段取り(事前の準備)が大切だということを学びました

■未来のエンジニアへの第一歩

——「インターンシップ事業」継続中

「インターンシップ事業」は今年で12年目、栃木県教育委員会並びに栃木県高等学校工業部会など関係機関のご協力により、県内の高等学校土木・建築科等の生徒を対象に、会員企業が年間8校10学科339人を受け入れています。

事後のアンケートで、インターンシップで学んだことを質問したところ「働くことの厳しさ大切さ」を選んだ生徒が最も多く「あいさつや言葉遣いの大切さ」「人間関係の重要性」「学校と社会の違い」と続きました。仕事を選ぶときに重視することの問いには「高い収入」や

「自分の適性や興味にあった仕事」との回答が多い結果でした。

一方、事前に学校で指導していただきたいことを受け入れ企業に質問したところ、「あいさつやマナー、一般的な礼儀作法」が最も多い結果となりました。

今後も、生徒の皆さんに建設会社や建設現場での直接的な就業体験の場を提供し、実務的な知識や技能・技術や考え方を学んでいただくことにより、学習・就業意欲が醸成され、後に建設業の道に進んでくれること、更には後世に技術を伝承しながら進化していくことを願っています。

■地域産業の担い手育成プロジェクト

——「将来の建設業界を担う人材育成事業」実施

将来の建設業界を担う人材育成の一環として、国土交通省（建設業人材確保・育成モデル事業）と文部科学省（地域産業の担い手育成プロジェクト事業建設分野）の採択を受けて、平成20年度から平成23年度の3年間の取り組みに対し、更なる担い手育成の深化を図るため、栃木県教育委員会と連携して「将来の建設業界を担う人材育成事業」に取り組んでおります。

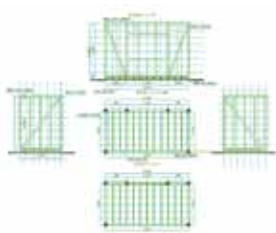
インターンシップだけでは学べない技術指導や実践体験の場を提供するとともに、高等学校と建設会社の連携方法や学科の特色に応じた教育課程の編成などを検討する場にもなっています。

【主な授業内容】

- ・アスファルト舗装の施工技術の習得
- ・土木科教員の指導力向上
- ・2級建築大工技能検定試験の実技課題の製作
- ・木造軸組建物の製作と起震装置による耐震実験
- ・ポケットパーク建設実習
- ・伝統技法（銅版葺き）の習得
- ・災害時対応かまどベンチの製作 等々

木造軸組建物の製作実習

実習風景



①JW-CADによるカットモデルの設計



②木材を墨付け加工する



③土台を組む